

田原公民館報

「愛着の館」
やかた

館長 泉森 由貴

「柿食えば、景気良くなる奈良のまち」
安倍首相が奈良の柿を試食して自作の句を披露し、笑いを誘ったそうです。奈良の柿の生産量は和歌山に次いで2位だとのこと。柿にとってもここは居心地のいい土地なのかも知れません。柿の木は山里の風景にはつきものです。田原の人は今年も柿の生り年だといいますが、鈴なりに実った柿を観ると本当に美しく感じます。



さて、田原なんでも文化祭が大盛況のうちは無事終了しました。いろいろな世代の方に来場していただき、「なんでも」という言葉がひと際、実感できた祭りになったと思います。普段以上の活気を感じ、たくさんの方の笑顔に出会えた2日間。あわただしく、休まることなく過ぎていきましたが、

平成26年
12月号



発行 公益財団法人 奈良市生涯学習財団
田原公民館
奈良市茗荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

ここで仕事を一つ一つの区切りを迎えた気がしました。ご協力いただいた全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございます。今月号は祭りの様子を伝える特別記事を載せています。文化祭には来年も変わらないご参加ご協力をお願いいたします。

先日、米作りをされている地域の方々とお話をしました。田原は早生の品種の米を生産し収穫するので、9月末までにほとんどの刈り込みを終えてしまい、コンバインなどの機械はメンテナンスをして10月からは納屋にいられてしまうとのこと。平地と田植えも収穫も時期が違うのなら、農作機械の共有も出来そうですねと私が尋ねたところ、皆さん答えは「できない」でした。なぜなら、機械にも愛着をもって使っているから。どんなものでも人間が使う限りは愛着が無く、どこかで手を抜いたりしてしまうもの。愛着のあるものは長く丁寧に扱える話でした。この愛着という言葉。まさしく公民館が目指しているものです。ただ便利で人が集まるハコではない、あればほっとする愛着のある館。田原の皆さんにとってのそんな空間になればいつも願っています。武道の世界では古来から「ものごとは礼で始まって礼で終わるもの」と言います。今年最後の館報をお礼で締めくくりたいと思います。田原公民館への一年間のご愛顧、ありがとうございました。

自主グループと地域の方の作品展示



ふるまいケーキ作り



みんなでおいしく出来たよ！

余頃千枝子さん特別出展



今年もプレイベントの菊花展とジャンボなかぼちゃ展から始まった文化祭。11月8日9日の2日間で約400人の方々にご来館いただきました。8日は作品展示とバザーから始まり、創作体験のサンドプラストに消しゴムはんこのコーナー。キッズのみんなによるパウンドケーキの調理とふるまい。そして綿菓子とポップコーンの販売。記念公演の紙芝居の上演。おいしいライメンの販売などがありました。9日はあいにくの雨模様にもかかわらず、しし汁のふるまいやおにぎりのバザーをたくさんの方に召し上がっていただき、2階の学習発表ではグループの皆さんが日頃の成果を発表され、最後は琉球舞踊の公演で会場全体がひとつになって盛り上がりました。出演、出展していただいた皆様、本当にありがとうございました。皆様にご協力頂いたチャリティーバザーの売上金は3万5千553円となりました。バザー売上金は市社会福祉協議会の善意銀行への募金とさせていただきます。

ありがとうございました
田原なんでも文化祭



消しゴムはんこに挑戦

チャリティーバザー



善意銀行へ寄付しました

自主グループ学習発表



記念公演琉球舞踊



中谷さんの紙芝居





取材：平古力三
写真：泉森由貴

第8回は「田原大川漬物」の館長 大川 和夫さんの登場です。

冬の気配も出てきた11月13日、漬物の準備で忙しい「田原大川漬物」作業場にお伺いしました。▼大川館長、今日はよろしくお願ひします。車で田原に入ると最初に大川漬物さんの看板が目に入りますが、いつ田原やま里博物館に入られたのですか。●岡井さんに勧められ、平成23年に入りました。▼漬物は、田原やま里市場にも出されているのですか。●土曜・日曜は作業がなくて田原やま里市場には時間的にも無理で出せません。▼それでは販路はどうされていますか。●三条通りのJ.A.奈良アンテナショップとその前の朝市、そしてこのお店で販売しています。最近はこの看板を見て田原街道だけでなく名阪国道を利用する大阪方面の方も立ち寄ってくださいますよ。またお客さんの中には、お好みの漬物をオーダーされる方もおられて対応しています。▼大川さんの漬物は着色料、保存料を使わない自然の味を大切にされているとお聞きしましたが、主力商品は何ですか。●平成12年から色々漬けてきましたが、現在は赤かぶ



らの甘酢漬けと大根のたくあんです。漬物に最適な野菜作りからしますから、赤かぶらは焼畑用の品種、大根はたくあん用の品種を使っています。経験で種にもこだわって仕入れています。そして、食品ですから特に安心、安全には配慮して着色料、保存料は使っていません。おいしそうな赤かぶらの色付も、野生種の赤かぶらの茎を使って自然色を出しています。たくあんも食感の良い歯ざわりの大根品種を作付けしています。▼それでは漬物作業は大勢でされるのですか。●畑の作付けから取り入れ、漬物の仕込み、看板作りそして販売まで一人でこなしていますよ。▼え、それは大変ですね。どんな段取りですか。●8月10日から8月30日まで3回の野菜の植え付けロットにあわせて、11月20日から1月20日まで新月の夜まわりで取り入れて漬けます。一回で15パレット引いてきて90Lの樽を20数個漬けますから作業場入り口までいっぱいになりますよ。樽や木蓋の保管場所はこの困いの中です。特に木蓋にできた菌を大切にしています。▼この作業場で、外にある看板も作られるのですか。●はい。昼間は農作業を中心に行っていますから漬物や看板作りは夜9時から11時半が、私にとって雑念の無い落ち着く時間で仕事はかどります。NHKのラジオ深夜便と共に私の楽しい時間です。▼それでは食事やお風呂はいつ取られるのですか。●もちろん先に済ませますよ。漬物も12年やっていますが日々勉強です。だんだん色・味が良くなってきてお客様に喜んでいただくのがうれしいですね。そして、田原街道をびわの花や四季の花が咲く花の街道にするのが私の夢です。

なんでも文化祭のスタッフよりうれしい気持ちが届きました。

田原なんでも文化祭はたくさんのお手伝いやボランティアスタッフによって催されました。その中から一番若くて元気な中学生の中西くんが次のような感想を書いてくれました。

ボランティアに参加して 田原小中学校8年 中西巧実くん

今学期は職場体験・幼小中合同運動会・どんごが丘フェスティバルと盛り沢山の行事がありました。とても大変でしんどかったけれど、どれも全力を尽くしたので達成感がありました。11月に入り、毎年田原なんでも文化祭があるのは、TAWARAキッズ時代から知っていて僕は4、6年生まで参加していました。去年に引き続き2日間ボランティアでお手伝いすることを自ら「やりたい。」と立候補しました。理由は、特に予定がなかったこと、将来役立つかも知れないと思ったからです。あとバザーのライメンに惹かれてしまい、とても美味しかったです。とにかく2日間とも忙しくてバタバタとしましたが、学校行事で関わることの多いキッズのメンバーと違う形で過ごすことが出来て楽しかったし、よかったと思います。最後に公民館の皆様、2日間御苦労様でした。僕でよければお手伝いさせていただけますので又、声を掛けてください。いろいろありがとうございました。



忙しそうにがんばる中西くん

12月の公民館関係行事とお知らせ

- 6日(土) クリスマス会(第8回TAWARAキッズ) 教育ボランティアサークルアンダンテ共催
 - 13日(土) プチ田舎暮らし -串柿としめ縄- (しめ縄づくり)
 - 14日(日) 衆議院選挙投票所(1階 講義室) 7:00~20:00
 - 29日(月) 30日(火) 田原地区消防団年末警戒
 - 公民館休館日: 12月27日(土)~1月5日(月)まで
 - 連絡所休業日: 12月27日(土)~1月4日(日)まで
- 年末・年始の休館日、休業日が違いますのでご注意ください。



都祁ヘルスマイト(食推)による料理教室のお知らせ

テーマ "TUNAGU-世代をつなぐ-"
日時: 12月17日(水) 午前9時半~午後1時半
場所: 都祁保健センター Tel 0743-82-0341
定員: 先着 18人まで
費用: 500円 ●締め切りは12月10日(水)です。



クリスマス会のお知らせ

日時: 12月6日(土) 午前10時~11時半
場所: 田原公民館 2階集会室
内容: ・クリスマスクラフト
・クリスマスアニメ
・ゲーム
・おかしバイキング
★参加費はいりません。幼稚園以下のお友達はお家の人と一緒に来てね。

